



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社京都ホテル 上場取引所 東  
 コード番号 9723 URL http://www.kyotohotel.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 福永 法弘  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名) 西川 治彦 (TEL)075(211)5111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,094	△3.2	385	10.0	289	62.6	210	142.9
28年12月期第2四半期	5,264	1.8	350	112.7	178	—	86	51.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	19.04	—
28年12月期第2四半期	7.87	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	18,206	2,265	12.4
28年12月期	18,698	2,041	10.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,265百万円 28年12月期 2,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	—	—	—	3.00	3.00
30年3月期	—	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年1月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,783	—	507	—	249	—	213	—	19.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成29年3月24日開催の第98期定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことにより、決算期を毎年12月31日から毎年3月31日に変更することになりました。つきましては、本年度は平成29年1月1日から平成30年3月31日までの15ヶ月の変則決算となります。

通期業績予想につきましては、15ヶ月の業績予想としておりますので、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	11,091,400株	28年12月期	11,091,400株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	—株	28年12月期	61,394株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	11,073,859株	28年12月期2Q	11,030,009株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善傾向が維持される中、緩やかな景気回復基調が継続いたしました。しかしながら、個人消費の伸び悩みや不確実な海外情勢を背景とした中、先行きは依然不透明な状況が続いております。

京都のホテル業界におきましては、訪日外国人旅行者の動向に変化の兆しがあるものの、好調なインバウンド需要を背景に、宿泊部門が引き続き堅調に推移する等、概ね良好な経営環境が継続いたしました。

かかる環境下、当社におきましては、からすま京都ホテルの客室改装(84室)や京都ホテルオークラ和食レストラン「入舟」のバリアフリー化工事等諸設備更新工事をはじめ、平成28年度を初年度とする3ヶ年の中期経営計画に基づき、諸施策を着実に実行してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は5,094百万円(前年同期比169百万円減)となりました。一方、収益面におきましては、前年に続き原価管理、経費削減に努めましたことに加え、閑散期の売上対策、不採算店舗の撤退効果もあいまって、営業利益は385百万円(前年同期比34百万円増)となりました。また、前年3月に実施いたしましたシンジケートローンのリファイナンスに伴う金融費用削減効果により、経常利益は289百万円(前年同期比111百万円増)、四半期純利益は210百万円(前年同期比124百万円増)となり、第2四半期としては、各利益段階において近年最高の利益計上となりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。

#### (宿泊部門)

京都ホテルオークラの宿泊部門は、邦人・外国人ともにインターネット予約を中心に個人客が好調に推移したことに加え、大型MICE案件が貢献し、売上高は前年同期比36百万円増となりました。

からすま京都ホテルにおきましても、1月～2月の客室改修工事に伴う販売制限がありましたが、インターネット経由での予約が順調に推移したことに加え、改装による客室単価の上昇もあいまって、売上高は前年同期比11百万円増となりました。

これらの結果、宿泊部門全体の売上高は1,768百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

#### (宴会部門)

京都ホテルオークラの婚礼宴会は、好調であった前年に比べ件数が大幅に減少となったことに加え、一般宴会においても前年の大型催事に替わるものもなく平年並みに推移したことにより、売上高は前年同期比52百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、一般宴会の件数、人数が前年を下回ったことにより、売上高は前年同期比7百万円減となりました。

この結果、宴会部門全体の売上高は1,660百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

#### (レストラン部門)

京都ホテルオークラでは、館内店舗におきまして、トップラウンジ「オリゾンテ」とテラスレストラン「ベルカント」が順調に推移しましたが、京料理「入舟」、中国料理「桃李」では客数が減少、惣菜販売を中止したカフェ「レックコート」の売上減少も影響し、売上高は前年同期比18百万円減となりました。また、館外店舗におきましては、京料理「粟田山荘」で団体客が伸び悩み低調に推移しました。これに加え、閉店した4店舗分の減収も影響し、売上高は前年同期比121百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、お食事処「入舟」、中国料理「桃李」で個室利用のグループ客が好調に推移し、売上高は前年同期比6百万円増となりました。

この結果、レストラン部門全体の売上高は1,408百万円(前年同期比8.7%減)となりました。

#### (その他部門)

その他部門の売上高は257百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

主な減少要因は「レインツリー」閉鎖に伴う物品販売売上の減少などによるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	1,768,402	34.7	2.8
宴会部門	1,660,138	32.6	△3.5
レストラン部門	1,408,226	27.6	△8.7
その他部門	257,776	5.1	△8.3
合計	5,094,543	100.0	△3.2

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の分析

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ491百万円減少し、18,206百万円となりました。負債につきましても、前事業年度末に比べ716百万円減少し、15,941百万円となりました。

また、純資産は前事業年度末に比べ224百万円増加し、2,265百万円となり、自己資本比率は12.4%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ141百万円減少し、当第2四半期会計期間末には1,371百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は593百万円(前年同期比289百万円の資金の増加)となりました。これは主に仕入債務が133百万円減少したものの、減価償却費420百万円などがあったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は328百万円(前年同期比73百万円の支出の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が325百万円などがあったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は405百万円(前年同期は210百万円の資金の増加)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が380百万円あったことによるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第2四半期の業績予想につきましては、平成29年2月10日に公表いたしました業績予想から、本日公表の「第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」に記載のとおり業績予想値と実績値との差異が生じております。なお、平成30年3月期通期の業績予想につきましては、今後の動向などを踏まえ、据え置いております。

また、当社は事業年度を「毎年1月1日から12月31日まで」としておりましたが、決算事務の効率化及び営業施策上の観点等により「毎年4月1日から翌年3月31日まで」に変更することになりました。

なお、決算期の変更に伴い移行期間となる第99期事業年度は、平成29年1月1日から平成30年3月31日までの15か月となります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,512,146	1,371,073
売掛金	565,370	402,950
原材料及び貯蔵品	102,046	70,238
前払費用	25,546	43,738
繰延税金資産	47,700	31,213
未収還付法人税等	3,861	-
その他	17,563	15,184
貸倒引当金	△812	△272
流動資産合計	2,273,422	1,934,128
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,524,303	10,384,175
構築物(純額)	58,811	52,988
機械装置及び運搬具(純額)	47,175	47,379
器具及び備品(純額)	265,679	304,068
土地	5,071,341	5,071,341
リース資産(純額)	182,657	161,586
建設仮勘定	-	10,368
有形固定資産合計	16,149,969	16,031,907
無形固定資産		
ソフトウェア	12,553	8,237
リース資産	146,381	131,692
電話加入権	4,429	4,429
商標権	366	341
無形固定資産合計	163,732	144,701
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
長期前払費用	14,681	12,104
前払年金費用	17,463	8,710
差入保証金	54,046	54,176
繰延税金資産	3,600	-
その他	12,672	11,215
貸倒引当金	△728	-
投資その他の資産合計	111,735	96,206
固定資産合計	16,425,436	16,272,814
資産合計	18,698,859	18,206,943

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	296,558	163,063
1年内返済予定の長期借入金	724,852	704,852
リース債務	76,241	72,852
未払金	590,264	473,833
未払費用	216,523	180,989
未払法人税等	17,757	53,541
前受金	74,163	67,715
預り金	65,742	67,571
前受収益	48,384	26,378
ポイント引当金	21,076	21,757
その他	35,301	31,649
流動負債合計	2,166,865	1,864,204
固定負債		
長期借入金	13,203,666	12,842,740
リース債務	285,765	250,753
長期未払金	171,547	156,750
長期預り保証金	829,792	824,229
繰延税金負債	-	2,678
固定負債合計	14,490,770	14,077,151
負債合計	16,657,636	15,941,356
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,268,924	1,268,924
資本剰余金		
資本準備金	450,229	450,229
その他資本剰余金	60,000	80,265
資本剰余金合計	510,229	530,494
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	288,401	466,167
利益剰余金合計	288,401	466,167
自己株式	△26,332	-
株主資本合計	2,041,222	2,265,587
純資産合計	2,041,222	2,265,587
負債純資産合計	18,698,859	18,206,943

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>売上高</b>		
室料売上	1,647,996	1,697,122
料理売上	2,049,773	1,904,661
飲料売上	402,419	391,751
雑貨売上	289,897	259,258
その他売上	874,433	841,750
売上高合計	5,264,520	5,094,543
<b>売上原価</b>		
料理原料	607,802	559,005
飲料原料	88,422	83,839
雑貨原価	222,306	202,578
その他原価	162,565	132,372
売上原価合計	1,081,096	977,796
売上総利益	4,183,423	4,116,747
販売費及び一般管理費	3,832,473	3,730,847
営業利益	350,950	385,899
<b>営業外収益</b>		
受取利息	20	1
補助金収入	2,766	566
受取手数料	2,290	2,152
その他	3,811	4,969
営業外収益合計	8,888	7,690
<b>営業外費用</b>		
支払利息	129,700	102,448
支払手数料	51,349	500
その他	519	819
営業外費用合計	181,569	103,767
経常利益	178,269	289,822
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	22,647	20,722
借入金中途解約損	27,424	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	17,550	-
その他	8,727	-
特別損失合計	76,349	20,722
税引前四半期純利益	101,919	269,100
法人税、住民税及び事業税	12,801	35,478
法人税等調整額	2,309	22,764
法人税等合計	15,110	58,243
四半期純利益	86,809	210,856



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	101,919	269,100
減価償却費	392,728	420,577
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△288	△1,268
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,376	681
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	16,683	-
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,550	-
前払年金費用の増減額(△は増加)	△8,205	8,753
受取利息及び受取配当金	△20	△1
支払利息	129,700	102,448
固定資産除却損	22,647	20,722
借入金中途解約損	27,424	-
売上債権の増減額(△は増加)	165,385	163,148
たな卸資産の増減額(△は増加)	41,187	31,807
仕入債務の増減額(△は減少)	△168,551	△133,495
未払金の増減額(△は減少)	△55,505	△109,295
その他	△166,476	△76,932
小計	496,457	696,245
利息及び配当金の受取額	20	1
利息の支払額	△152,036	△104,265
借入金中途解約損の支払額	△27,424	-
法人税等の還付額	-	3,861
法人税等の支払額	△13,944	△2,802
営業活動によるキャッシュ・フロー	303,071	593,040
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△252,034	△325,105
無形固定資産の取得による支出	△3,941	△4,040
その他	635	728
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255,341	△328,417
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△1,100,000	-
長期借入れによる収入	13,700,000	-
長期借入金の返済による支出	△12,331,210	△380,926
リース債務の返済による支出	△25,186	△38,401
自己株式の処分による収入	-	46,598
自己株式の取得による支出	△3	-
配当金の支払額	△33,097	△32,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	210,502	△405,695
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	258,232	△141,072
現金及び現金同等物の期首残高	1,359,429	1,512,146
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,617,662	1,371,073

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。